

国体改革検討資料

検討 C

1 前年優勝県にシード権を配分する案  
(人数枠が8増288とする場合)

ブロック名	都道府県名								都道府県数	成年	成年	少年	少年	ブロックチーム数
										男子	女子	男子	女子	
北海道	北海道								1	1	1	1	1	4
東北	青森、	岩手	宮城	秋田	山形	福島			6	2	2	2.5	2.5	9
関東	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	8	3	3	3	3	12
北信越	新潟	長野	富山	石川	福井				5	1.5	2	2	2	7.5
東海	静岡	愛知	三重	岐阜					4	1.5	1.5	1.5	1.5	6
近畿	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山			6	2.5	2.5	2.5	2.5	10
中国	鳥取	島根	岡山	広島	山口				5	2	1.5	2	2	7.5
四国	香川	徳島	愛媛	高知					4	1	1	1.5	1.5	5
九州	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	8	2.5	2.5	3	3	11
開催県枠										1	1	1	1	4
前年優勝枠										1	1	1	1	4
計									47	19	19	21	21	80
選手数									240				8名増員案・増員は厳しい	
監督数									48					
選手・監督合計									288					

- ※ 北信越・中国ブロックの成年男女0.5枠は、2ブロック成男・成女で1枠(0.5枠+0.5枠)を隔年入れ替え
- ※ 東北少年男女、東海成年・少年男女、近畿成年・少年男女、四国少年男女、九州成年男女の0.5枠は各ブロック男女2種別で1枠(0.5枠+0.5枠)を隔年で入れ替える。

2 ミックスダブルス案(第2回実行委:会で実施の提案があった)

1種別 少年ミックス 成年ミックス

- ※本国体参加県のうちミックスダブルスを組める県が各1チームを組んで行う
- ※少年と成年でミックスダブルスを組むチームは成年チームとして扱う